



©2024 東京大学 駒場 グローバル地域 (地中海)

名古屋大学デジタル人文社会科学研究推進センター

キック・オフシンポジウム

大プリニウスと ポンペイ

1 / 2025
13:00~17:30
【開場 12:15】
26 日

開催場所

名古屋大学
坂田・平田ホール

申し込み
先着順

250名

主催 名古屋大学デジタル人文社会科学研究推進センター

後援 名古屋大学人文学研究科・名古屋大学高等研究院・中日新聞

参加申し込み <https://dhss.nagoya-u.ac.jp/news/> より登録

お問い合わせ dhss-jimu@t.mail.nagoya-u.ac.jp



参加登録



デジタル人文社会科学
研究推進センター
Center for Digital Humanities and Social Sciences



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

プログラム | 司会 / 河江 肖剰 (名古屋大学)

1 13:00-13:05

開催のご挨拶

杉山 直 (名古屋大学・総長)

佐久間 淳一 (名古屋大学・センター長)

2 13:10-13:40

パピルス荘出土のパピルスの解読とAI

川本 悠紀子 (名古屋大学)

3 13:45-14:15

ヒューマニテキストと「プリニウス」:

AIで再発見する古代ローマの世界

岩田 直也 (名古屋大学)

4 14:30-15:30

合作「プリニウス」はいかにして描かれたか

とり・みき (漫画家・「プリニウス」作者)

5 15:40-16:40

古代から現代へ

ーデジタル・ヒューマニティーズと

古代ローマ研究ー

青柳 正規 (東京大学名誉教授)

6 16:50-17:20

パネルディスカッション

7 17:20-17:25

閉会のご挨拶

周藤 芳幸 (名古屋大学・人文学研究科長)



キック・オフ シンポジウム 大プリニウスとポンペイ



提供：多摩美術大学

あお やぎ まさ のり
青柳 正規 東京大学名誉教授

1944年、大連生まれ。古代ローマ美術・考古学を専攻。東京大学文学部教授、国立西洋美術館館長、独立行政法人国立美術館理事、文化庁長ほか歴任し、現在、東京大学名誉教授、日本学士院会員、山梨県立美術館館長、学校法人多摩美術大学理事長、奈良県立橿原考古学研究所所長、石川県立美術館館長、公益財団法人せたがや文化財団理事長、公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京機構長、他。50年に亘りイタリアの古代ローマの遺跡発掘に携わる。

国内では、地中海学会賞（1978年）、マルコ・ポーロ賞（1991年）、浜田青陵賞（1991年）、毎日出版文化賞（1993年）、紫綬褒章（2006年）、日本放送協会放送文化賞（2011年）、瑞宝重光章（2017年）などを受賞、文化功労者（2021年）。海外では、イタリアポルト・エンペドクレ賞（1984年）、イタリア共和国功績正騎士勲章（2002年）、イタリアSebetia Ter国際賞（2008年）、イタリアTorquato Tasso国際賞（2017年）、イタリアAmedeo Maiuri国際考古学賞（2021年）を受賞。著書は、『皇帝たちの都ローマ』、『ローマ帝国』、『文化立国論』、『人類文明の黎明と暮れ方』他。



とり・みき 漫画家・『プリニウス』作者

マンガ家。1958年生。1979年「少年チャンピオン」誌でデビュー。以後ギャグをメインにエッセイコミックやSF・ホラー物も発表。94年『DAI-HONYA』（原作：田北鑑生）98年『SF大将』で星雲賞、95年『遠くへいきたい』で文春漫画賞を受賞。他の主な作品に『るんるんカンパニー』『クルクルくりん』『愛のさかあがり』『キネコミカ』『石神伝説』『冷食捜査官』等。また洋画の吹替や工事現場の看板に関する研究著書がある。劇場版アニメ『WXIII 機動警察パトレイバー』では脚本を担当。2023年、10年に及ぶヤマザキマリとの合作『プリニウス』が完結。同作は2024年の手塚治虫文化賞を受賞した。